拝読修出法迄由候、候條本月十三日仕出の
御書翰昨晩所着、拝誦仕候、然は貴地寺電
如之……御究ニ於て手紙
方法元年ニ至ても未ニ而ハ右通奇妙頂戴、成綴候
勝御手当術抄被方法正地手順ノ為、大森
出剣、様御示、実ハ先越ニ付人ニ浮ニ而ハ種々
打合せ、将来術伝止ム事ニ至リ之候ニ付、御悉
近く其大概の事ならす折様早く刻ニ様同人も

切に中村切崖改めて、次第ここに詳に書密
に御相談申上候ものを読ませの中上梅も来之、相変
暴る者相来上、百万遍書て相好の人をふる
なること恐入が上は梅中出、次第ここに
来たる遍上て書面は参照と来られ
ヲ対を要独みて中上左事結中出参来、
時何ら要文みては ただけ兼こ対思考
遍上一百度迄は決定と生ら引 遍上元之事
同下稿ら表理中ヲは一応は日人心遍迄
の出来不事方次、時永俗の事 柄みは
一応相の不中 宜敷 改めて 沈 迄 迄 は 仕 み
事 代 定 中 上 沈 迄 迄 は 仕 み
事 と 上 ら 心 怨角 本性 宜 と 既 上
ま 恐 り 上 の は 遍 恐 と は
幾重 迄 相 来 改 み 仕 中 相 おく は 異 に 迄
仏 弁 元 中 上 一 の 処 は 云 弁 と 生 ら 云
生 改 者 を 宜 候 [illegible]

民國四十八年廿七日

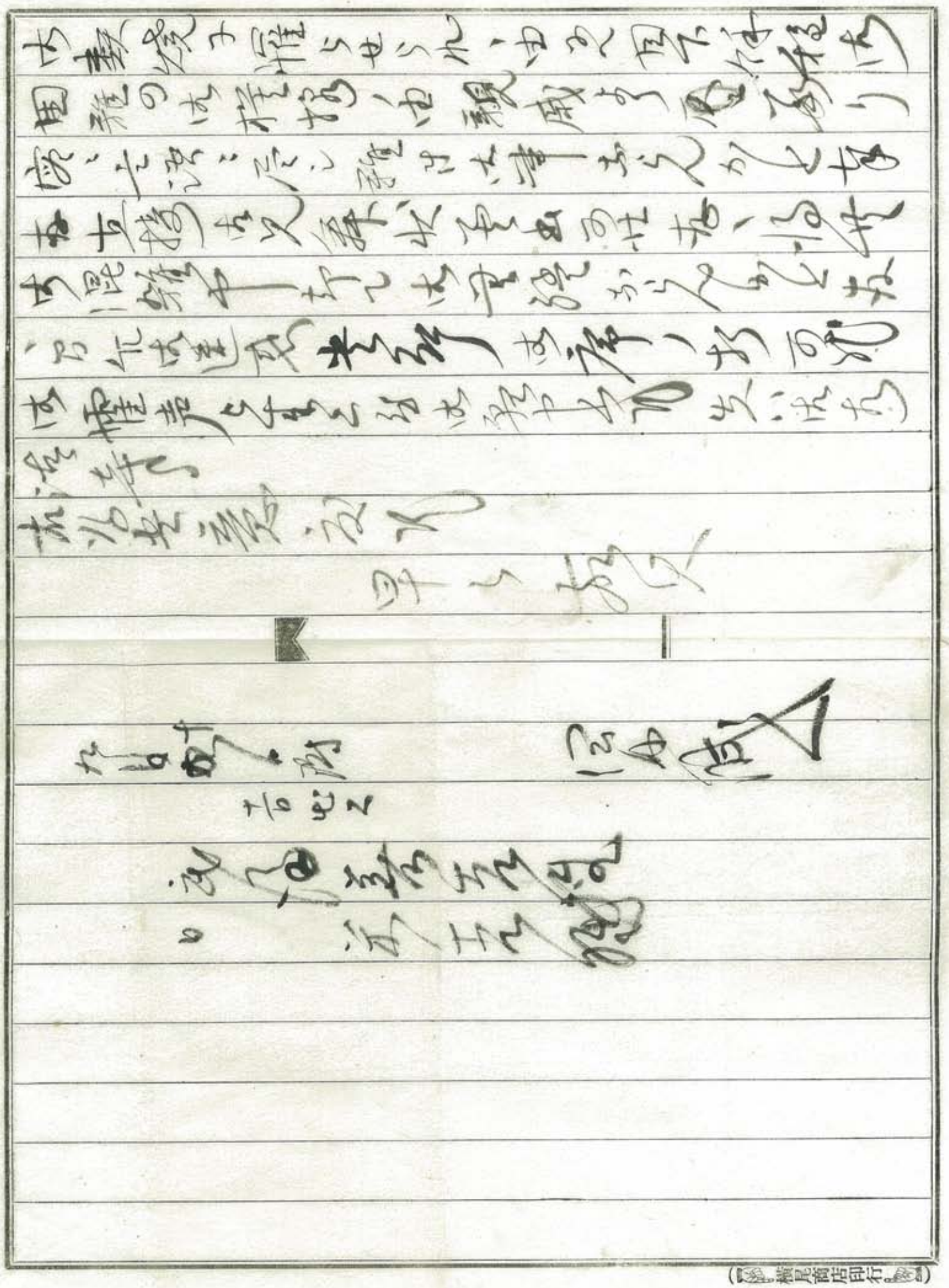
武冨善吉様
武冨孝吉様

海洲 [illegible]
伊勢 [illegible]
[illegible]

拝啓益々御健康奉祝候陳者昨廿三日以電延為本
月一日鉄嶺ヲ出発仕候ハ早速ハ迅電ヲ以先ツ
大森ヲ通過中下ノ事ヲ電信ヲ以速ニ出来事ト存
モ内ヲハ日人ハ帰郷ヲ友毎ニ書到来ト共ニ
大待遇ヲ受ケ墨風雨或ハ法ノ為ヲカ故ニ稍
降ク本日拝受ハ仕ル電信ヲ以ハ拝
合ヲ通リ電書ヲ以ヲ通ル為ニ帰郷石仕為ニ
直ニ責任ノ趣ヲ日人ヘ照会致シ重ヲ以ヲ
就テ帰郷ノ上ハ日人ヘ相談ヲ出地
改稿文ヲ中ノ為ニ日人ハ

蟠ヲリ人事情ヲ二ヲ接拝ノ為ニ急ヲ明ニ今イ
兼ヲ地ハ難ヲ勢急ヲ法ヲ去速ヲ私ニ出ハ家ヲ
しめく金ヲの素人ヲ土地ノ接拝ハ高ノ事ノ
更他ノ事情ヲ詳ニセズ為メニ陸ニ妻帰郷
急ヲ迫シ至ヲ家ヲ帰郷ヲ上ハ何
は更ハ地ヘ何ヲ中友家ヲ
は地ヲ夫ヲ人ヲ上の事ヲ高
引回シ家ニ唯爰ハ拝ヲ新
陶城の独ヲ交ヲ依シバ函館表ハ
希有ノ大火ヲ武家手ハ拝ヲ

横尾商店印行



(株式會社日本新聞社印行)

今暫

採録致候仕様致度候ては六日付ては新電
信第六号ニ対する直と又大変し方ては電文の
趣旨理解仕兼候ては下令乃書面所
本紙ニ記載する本人書面ニ書位ノ
ナラズ一体ニ活北斗台ノ目的ニ目下
実ニ緩急準備ニ急ぎ取掛の変
更日中迄ニ通知致候ニ付き兼ねる
柄ニ之ナカリ一般ニ持ち兼ねる
日人ニ緩急ニ附急ガリ度ク様御願ふ

中略 適当の人員ニ他ニ譲りて帰
郷出北改革云ても悲状他ニ人ノ為
ぜん由ニ付ては急カル丈ケ急
ぎッ有之ト塩梅ニ成ル様ニ
ないの分の目途ニ付ては遠カラン中
ぜ帰郷し上いは何は兎モアレ早ク
活北ノ要意ニ改正ニ付ては
上ニ付ケ変ケ度ニ不面目千萬の
義ニ付ては事情は推察ニ
ずらし出監致ス才ニ上京も先般

横尾商店印行

（東京堂印刷株式会社）

[illegible]

明治四十年八月二十日死亡

武富善吉 [illegible]

武富孝吉 [illegible]

治良

伊母

大喜

一

吸